取扱説明書

audio-technica®

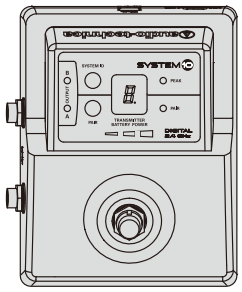
ギターワイヤレスシステム

ATW-1501

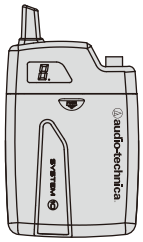
お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

内容物を確認する

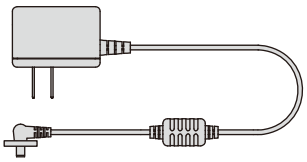
本製品をご使用になる前に、下記内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社お客様相談窓口までご連絡ください。



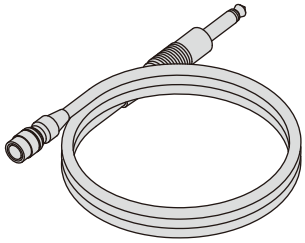
●レシーバー
（ATW-R1500）×1



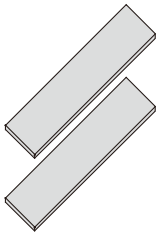
●2ピースタイプトランスミッター
（ATW-T1001J）×1



●ACアダプター×1
●保証書
●取扱説明書（本書）



●S型1.0mギターケーブル×1



●固定テープ×2組

特長

- **安定した運用を可能にする3つのダイバーシティを搭載**
- **リアルタイム双方向通信で干渉周波数を自動回避**
- **最大8台の同時使用が可能**
- **ABセレクト機能搭載で多彩なセッティングに対応可能**
- **トランスミッターの電池残量を4ステップ表示**
- **マルチペアリング機能でライブ中のスムーズなギターの持ち替えが可能**

目次

安全上の注意・・・・・・・・・・・・2～3ページ
使用上の注意・・・・・・・・・・・・・・3ページ
各部の名称と機能・・・・・・・・・・4～5ページ
接続のしかた・・・・・・・・・・・・・・6ページ
電池の入れかた・・・・・・・・・・・・・6ページ
使いかた・・・・・・・・・・・・・・7～8ページ
マルチペアリング機能・・・・・・・・・9ページ
本システムを上手に運用するための
10ポイント・・10ページ
外形寸法図・・・・・・・・・・・・・・10ページ
故障かな？と思ったら・・・・・・・・・11ページ
テクニカルデータ・・・・・・・・・・・・裏表紙

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。
事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

●心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の場所では使用しない
ペースメーカーが、本製品の電波の影響を受ける恐れがあります。
●本製品を医療機器の近くで使用しない
電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。
医療機関の屋内では使用しないでください。
●指定の AC アダプター以外は使用しない
事故や火災の原因になります。
●異常に気付いたら使用しない
異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがあったら、すぐに使用を中止して、
お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
●分解や改造はしない
感電、故障や火災の原因になります。
●強い衝撃を与えない
感電、故障や火災の原因になります。
●濡れた手で触れない
感電やけがの原因になります。
●水をかけない
感電、故障や火災の原因になります。
●本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない
感電、故障や火災の原因になります。
●布でおおわない
過熱による火災やけがの原因になります。
●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
事故や火災の原因になります。

⚠注意

●不安定な場所に設置しない
転倒などによりけがや故障の原因になります。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
故障、不具合の原因になります。
●火気に近付けない
変形、故障の原因になります。
●ベンジン、シンナー、接点復活保護液などは使用しない
変形、故障の原因になります。

AC アダプターについて

⚠警告

●AC100V 以外の電源には使用しない (日本国内専用)
過熱による火災など事故の原因になります。
●本製品以外には使用しない
過熱による火災など事故の原因になります。
●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜き
お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに連絡してください。
そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。
●コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない
過熱による火災など事故の原因になります。
●コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む
過熱による火災など事故の原因になります。
●コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする
断線、故障の原因になります。
●コードの上に物を置いたり、敷物や家具などの下に入れたりしない
断線、故障の原因になります。
●分解や改造はしない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●強い衝撃を与えない
感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●濡れた手で触れない
感電によるけがの恐れがあります。
●布などでおおわない
過熱による火災など事故の原因になります。
●プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る
過熱による火災など事故の原因になります。
●ベンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない
変形、故障の原因になります。

⚠注意

●長時間使用しないときは、コンセントから抜く
省エネルギーにご配慮ください。
●足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない
故障や事故の原因になります。
●通電中のACアダプターに長時間触れない
低温やけどの原因になることがあります。

電池について

指定電池	単３形アルカリ乾電池（別売）

※指定電池以外は使用しないでください。

⚠危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を
受けてください。
●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
■液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを
起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
■万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、
医師の診察を受けてください。
■皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。
皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。

電池について (つづき)

⚠ 警告

●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない
発熱、破損、発火の原因になります。
●幼児の手の届く所に置かない
電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
窒息や内臓への障害の恐れがあります。
●電池は (+) (−) を逆に入れない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の (+) と (−) を接続しない
ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●乾電池は充電しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●使い切った電池はすぐに取り出す
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●長期間使用しない場合は電池を取り出す
液漏れによる故障の原因になります。

⚠ 注意

●落下させたり強い衝撃を与えない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●以下の場所で使用、放置、保管しない
■直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
■炎天下の車内
■ストーブなどの熱源の近く
液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
●水に濡らさない
発熱、破裂、発火の原因になります。
●外装ラベルがはがれた電池は使用しない、ラベルをはがさない
ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●変形させたりハンダ付けしない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●保管、廃棄の場合は端子（金属部分）をテープなどで絶縁する
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●機器を使用したあとは必ずスイッチを切る
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。
●指定の電池以外使用しない
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する
環境保全に配慮してください。

使用上の注意

本体について

●ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
●本製品の近くに発信機（携帯電話など）があるとノイズが入る場合がありますので離してご使用ください。
●汚れたときは電源プラグを抜いてから、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

ワイヤレス機器について

本製品は 2.4GHz の周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用するほかの機器との電波干渉を避けるために、
下記事項をお読みのうえ、ご使用ください。

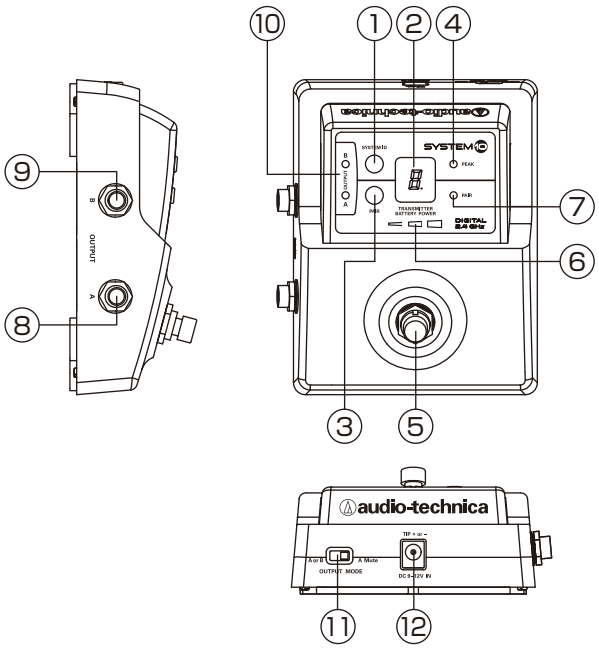
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家庭用電気機器・IT・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許が必要)、特定小電力無線局（免許が不要)、およびアマチュア無線局 (免許が必要) が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかにトランスミッターの電源を切ってください。そのうえでお客様相談窓口 (→裏表紙) にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社お客様相談窓口 (→裏表紙) までお問い合わせください。

●本製品は日本国内でのみご使用いただけます。
●本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として工事設計認証を受けております。
無線局の免許は必要ありません。
●以下の行為は、法律で禁じられています。
− 分解や改造を行う
− 本体に貼付の工事設計認証ラベル（ ㊣ マークを含むラベル）をはがす
●本体の表示について
2.4XX8 この無線機が 2.4GHz 帯を使用し、変調方式はその他の方式、与干渉距離が 80m 以内、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能を表わします。
●使用可能範囲
トランスミッターから約 20m の範囲でご使用いただけますが、トランスミッターとレシーバーの間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。
●ほかの機器との影響
Bluetooth 搭載機器、無線 LAN・Wi-Fi を使用する機器、デジタルコードレス電話、電子レンジなど、本製品と同じ 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉し合う機器同士は離して設置してください。

各部の名称と機能

レシーバー　ATW-R1500



① システム ID 切換ボタン

システム ID を切り換えます。
ボタンを押すと 1 ～ 8 まで順方向にシステム ID が切り換わります。
※出荷時の設定は 1 です。

② システム ID 表示部

現在設定されているシステム ID を表示します。

③ ペアリングボタン

ペアリングを行うときに使用します。

④ ピークインジケーター

過大な入力信号を受信したときに、赤色に点灯します。

⑤ フットスイッチ

出力状態を切り換えます。
7ページの**「使いかた」**を参照ください。

⑥ トランスミッターバッテリーインジケーター

トランスミッターのバッテリー残量を表示します。
青色点灯 3 つ:100～60%　青色点灯 2 つ:60～30%
青色点灯 1 つ:30～10%　　青色点滅:10% 以下
※アルカリ乾電池使用時
※トランスミッターと通信中に点灯します。

⑦ 受信インジケーター

トランスミッターとペアリングが完了し、通信すると緑色に点灯します。また、ペアリング中は緑色に点滅します。

⑧ AF 出力端子 A （φ6.3 ㎜ TRS バランスジャック）

バランス出力端子です。
※φ6.3 ㎜モノラルプラグも使用可能です。
その場合は、アンバランス出力となります。

⑨ AF 出力端子 B （φ6.3 ㎜ TRS バランスジャック）

バランス出力端子です。
※φ6.3 ㎜モノラルプラグも使用可能です。
その場合は、アンバランス出力となります。

⑩ A ／ B 出力インジケーター

出力端子 A ／ B の出力状態を表示します。
緑点灯：ON　　赤点灯：OFF(ミュート)

⑪ 出力モード切換スイッチ

出力モードを切り換えます。
A Mute モードまたは A or B モードを選択します。
※出荷時の設定は A Mute モードです。
7ページの**「使いかた」**を参照ください。

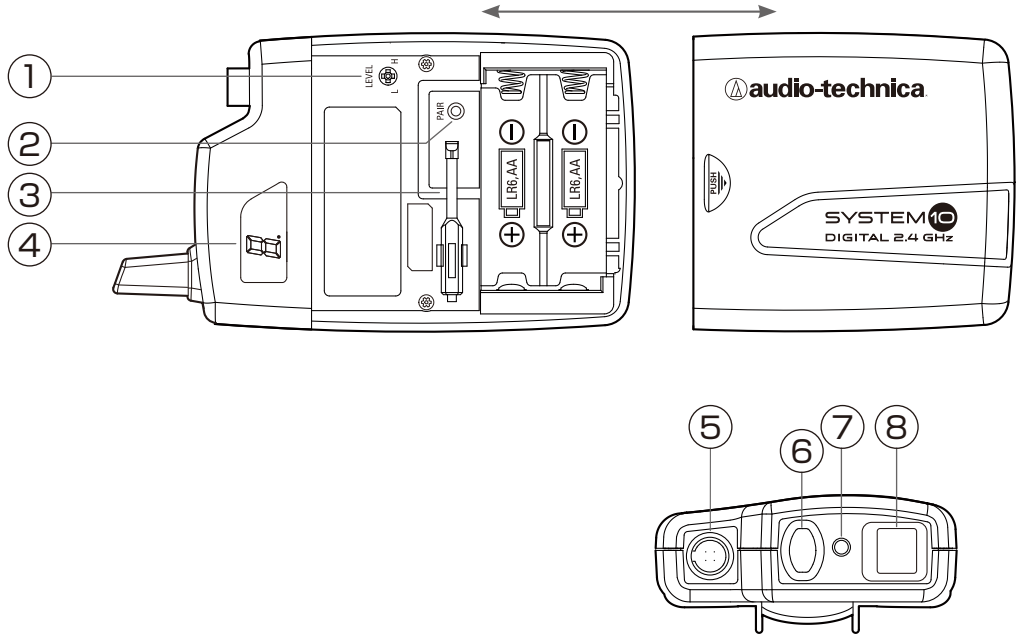
⑫ DC 入力端子 （DC9-12V、センター＋、－両極性対応）

付属の AC アダプターを接続し、AC100V 50 ／ 60Hz の電源に接続してください。

＊各部の機能に関して、詳細は 7 ページ「使いかた」をご覧ください。

各部の名称と機能

2ピースタイプトランスミッター　ATW-T1001J



① AF レベルボリュームノブ
入力レベルを調整します。
※出荷時の設定は最小です。

② ペアリングボタン
ペアリングを行うときに使用します。

③ ミニドライバー
AF レベルボリュームノブを調整するときに使用します。
※紛失に注意してください。

④ システム ID 表示部
現在設定されているシステム ID を表示します。
※出荷時の設定は 1 です。

⑤ 入力コネクター
付属のギターケーブルを接続します。

⑥ 電源／ミュートボタン
長押しで電源の ON ／ OFF
短押しでミュートの ON ／ OFF します。

⑦ 電源／ミュートインジケーター
電源 ON 時に緑色に点灯、
ミュート ON 時に赤色に点灯します。

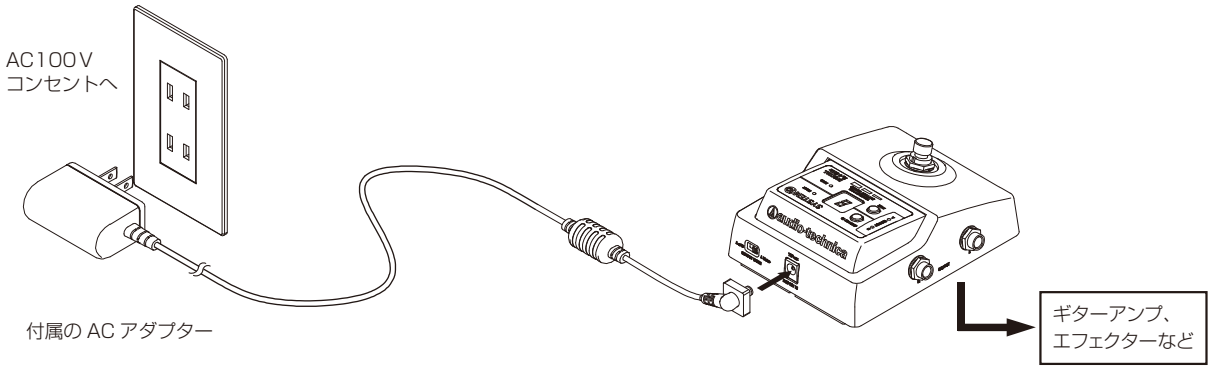
⑧ アンテナ

＊各部の機能に関して、詳細は 7 ページ「使いかた」をご覧ください。

接続のしかた

※接続する機器の取扱説明書を併せてお読みください。

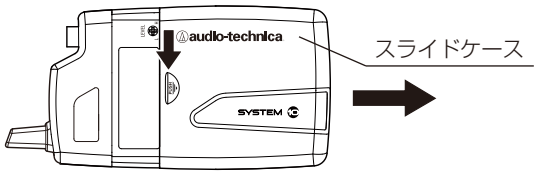
接続の前に接続機器の音量ボリュームを最小にし、電源は「切」状態にしてから接続してください。



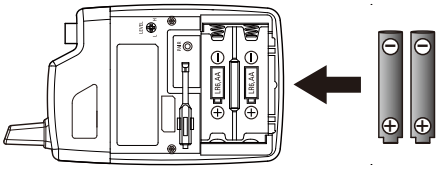
電池の入れかた

①トランスミッターの電源が OFF になっている
ことを確認します。

②スライドケースの「PUSH」表示部を押しながら
図の矢印方向にスライドさせ外します。



③別売の単 3 形アルカリ乾電池 ×2 本を表示の向き
に合わせて入れます。

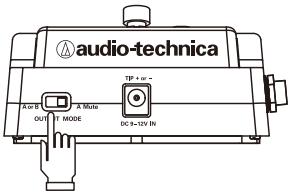


④スライドケースを本体に合わせ、図の矢印方向に
「カチッ」と音がするまでスライドさせて取り付け
ます。

使いかた

レシーバーを準備する

レシーバーの出力モード切換スイッチを設定します。



A Mute モード

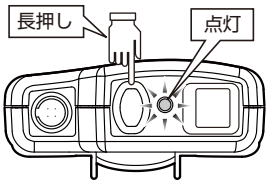
フットスイッチを押すたびに AF 出力端子 A の出力が ON ／ OFF します。
AF 出力端子 B の出力は ON のまま変わりません。

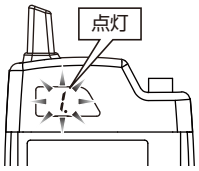
A or B モード

フットスイッチを押すたびに AF 出力端子 A または B の出力が交互に切り換わります。

トランスミッターを準備する

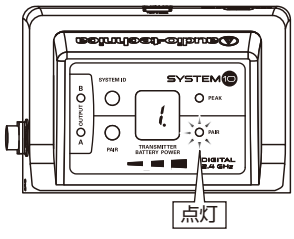
①トランスミッターの電源／ミュートボタンを長押しします。





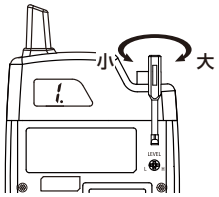
電源／ミュートインジケーターが緑色に点灯します。
システム ID 表示部に ID が青色に点灯します。

②レシーバーの受信インジケーターが緑色に点灯します。



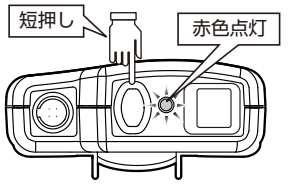
入力レベルを調整する

トランスミッターの AF レベルボリュームノブで入力レベルを調整します。



＊操作の際は必ずトランスミッターに付属しているミニドライバーを使用してください。

ミュート (消音) のしかた



①電源／ミュートボタンを短押しするとミュート状態になります。
電源／ミュートインジケーターが赤色点灯に変わります。

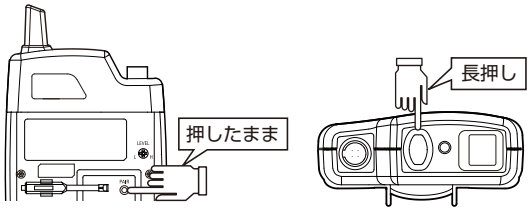
②再度、電源／ミュートボタンを短押しするとミュートが解除されます。
電源／ミュートインジケーターが緑色点灯に変わります。

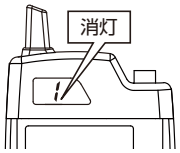
ミュートロックモード

ミュート操作を無効にすることができます。

設定のしかた

トランスミッターのペアリングボタンを押したまま、電源／ミュートボタンを長押しし電源を ON します。





ミュートロックモード時はシステム ID 表示部 ID 横の「.」(ドット) が消灯します。

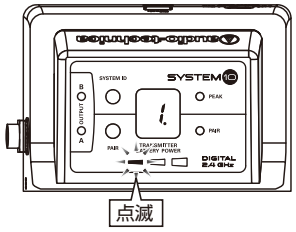
解除のしかた

再度、トランスミッターのペアリングボタンを押したまま電源を ON します。
システム ID 表示部 ID 横に「.」(ドット) が点灯します。

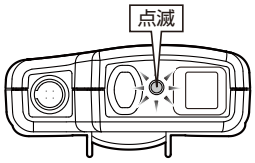
使いかた

電池交換時期について

トランスミッターの電池残量が少なくなると、レシーバーのトランスミッターバッテリーインジケーターが点灯から点滅に変わります。



トランスミッターの電源／ミュートインジケーターが点灯から点滅に変わります。

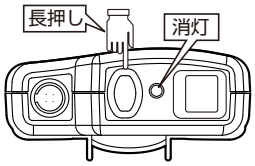


＊通常使用時は緑色に点滅、ミュート時は赤色に点滅します。

その際は、新しい電池に交換してください。

電源の切りかた

電源／ミュートボタンを長押しします。



電源／ミュートインジケーターが消灯します。

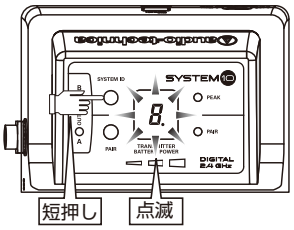
複数のシステムで使用するには

複数のシステムを同時にご使用の際は、各々異なったシステム ID に設定してください。
（同じ ID のシステムが運用範囲内に複数存在しても、混信することはありません。どのレシーバーとどのトランスミッターが通信しているか識別するために異なる ID に設定して使用することをおすすめします。）

＊レシーバー 1 台につき、1 台のトランスミッターが使用可能です。
＊本システムは最大 8 台の同時使用が可能です。

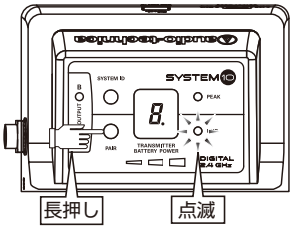
ペアリングを行う

①レシーバーのシステム ID 切換ボタンを押し、任意の ID 番号を表示します。



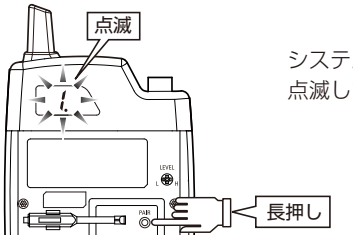
システム ID 表示部が点滅します。

②レシーバーのペアリングボタンを長押しします。



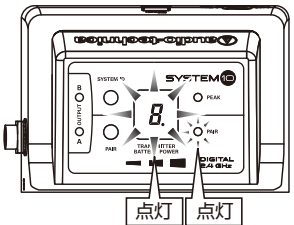
受信インジケーターが点滅します。

③レシーバーの受信インジケーターが点滅している間に、トランスミッターのペアリングボタンを長押しします。

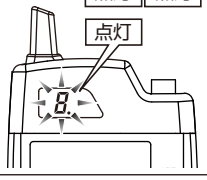


システム ID 表示部が点滅します。

④ペアリング正常終了の場合



レシーバーの
- システム ID 表示部が点滅 → 点灯に変わります。
- 受信インジケーターが点滅 → 点灯に変わります。



トランスミッターの
システム ID 表示部の ID がレシーバーと一致し、
点滅 → 点灯に変わります。

⑤「④」の状態にならなかった場合は、もう一度①の動作からやり直してください。

マルチペアリング機能

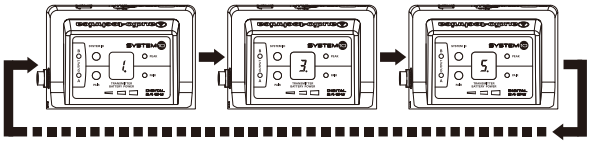
本システムは、１台のレシーバーに最大８台のトランスミッターを登録することが可能です。
都度ペアリングを行う必要がなく、トランスミッターを切り換えるときに大変便利です。

ID を登録する場合

①ペアリングを行います。
８ページ「ペアリングを行う①～④」を参照ください。異なる ID 番号に登録してください。

②トランスミッターと通信していないとき、
レシーバーのシステム ID 表示部には、登録されている ID のみ順次表示されます。

例】ID 1. 3. 5 を登録した場合

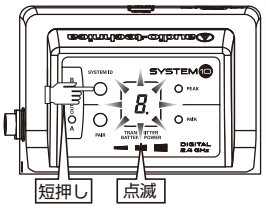


＊ID を登録するときは、登録するトランスミッター以外の電源を OFF にしてください。

＊１つのトランスミッターを複数の ID に登録することはできません。

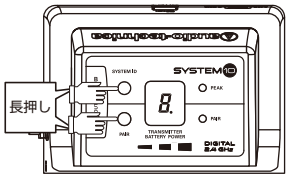
ID 登録を１つ削除する場合

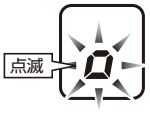
①レシーバーのシステム ID 切換ボタンを押し、
登録を削除したい ID 番号を表示します。



システム ID 表示部が点滅します。

②レシーバーのシステム ID 切換ボタンと
ペアリングボタンを同時に長押しします。

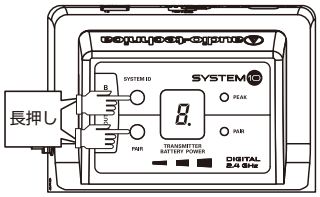


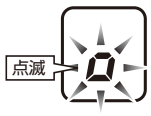


システム ID 表示部に「o」が点滅し、
ID 登録が削除されます。

ID 登録を全て削除する場合

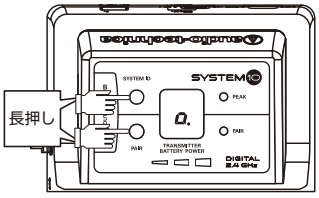
①レシーバーのシステム ID 切換ボタンと
ペアリングボタンを同時に長押しします。



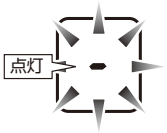


システム ID 表示部に「o」が点滅します。

②システム ID 表示部に「o」が点滅している間に、
再度レシーバーのシステム ID 切換ボタンと
ペアリングボタンを同時に長押しします。



システム ID 表示部に「A」が点滅し、
全ての ID 登録が削除されます。



その後、システム ID 表示部に「－」
(登録なし) が点灯します。

＊使用していないトランスミッターの電源は OFF にしてください。

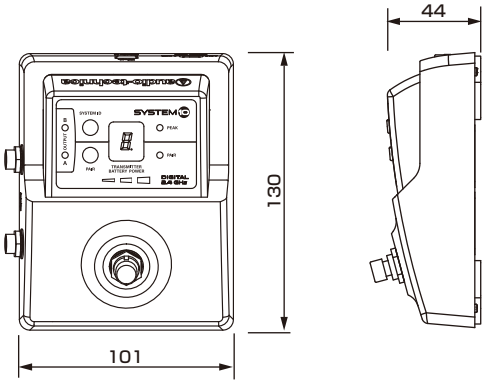
＊トランスミッターを切り換えるときは、必ずトランスミッターの電源を OFF にしてください。
電源が ON のまま電池を外したときや、通信範囲外で電源を OFF にしたときは、その他のトランスミッターに切り換わりません。一度 AC アダプターを抜いてレシーバーの電源を OFF にしてください。

本システムを上手に運用するための10ポイント

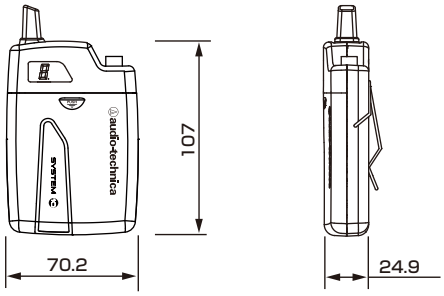
1. 長時間連続でご使用になる場合は、運用する前に新品の電池を準備してください。
2. レシーバーとトランミッターの間にはできるだけ障害物がないように設置してください。
3. レシーバーとトランスミッターの距離は近くなるように設置してください。
4. ほかのデジタル機器からできるだけ離してください。
   特に Wi-Fi ルーターなどの 2.4GHz 帯無線機器はレシーバーとトランスミッターから 10m以上離して設置してください。
5. エフェクター用のパワーサプライを使用する場合には、ノイズ発生防止のためアイソレート (絶縁・独立) 出力タイプのものをご使用ください。
6. ギターと合わせて使用する際、ピックアップの種類によって磁気のノイズを受けやすいものがあります。ノイズが出る場合にはトランスミッター本体をギターのピックアップ部から 30cm 以上離して設置してください。
7. トランスミッターの AF レベルボリュームノブは、レシーバーのピークインジケーターが点灯しないよう設定してください。
   ＊レシーバーに対して入力が大きすぎると音割れや歪みが発生します。
   逆に入力が小さすぎると S/N が悪くなり、ノイズが発生しやすくなります。
8. 出力モード切換スイッチに関して、A or B モードは 2 つの異なる外部機器 (アンプ等）に接続する際に最適です。例えば、リードギター用のアンプとリズムギター用のアンプの切り換えをフットスイッチで簡単に行えます。A Mute モードはチューニングする際にご使用ください。フットスイッチで AF 出力端子 A の出力をミュートし、チューニング後に再度フットスイッチを押して AF 出力端子 A のミュートを解除します。
9. トランスミッターをご使用にならない場合は電源を切ってください。
   また、長時間ご使用にならない場合は電池を外してください。
10. レシーバーをご使用にならない場合は、A Cアダプターをコンセントから抜いてください。

外形寸法図 (単位：mm)

ATW-R1500



ATW-T1001J



故障かな?と思ったら

レシーバーの電源が入らない

・AC アダプターがコンセントから外れていませんか?
・AC アダプターが本体から外れていませんか?

6ページの「接続のしかた」を参照ください。

トランスミッターの電源が入らない

・電池が入っていますか?
→ 電池を入れてください。
・電池が消耗していませんか?
→ 新しい電池に交換してください。
・電池が正しい向きに入っていますか?
→ 電池を正しい向きに入れ直してください。

6ページの「電池の入れかた」、
8ページの「電池交換時期について」を参照ください。

トランスミッターの電源がすぐ切れてしまう

・電源 LED が点滅していませんか?
→ 電池が消耗している可能性があります。
新しい電池に交換してください。

6ページの「電池の入れかた」、
8ページの「電池交換時期について」を参照ください。

音が割れる

・音が大きすぎませんか?
→ トランスミッターの AF レベルボリュームノブを
調整し、入力レベルを小さくしてください。

レシーバーとトランスミッターが通信しない

・レシーバーとトランスミッターの ID 番号は一致
していますか?
→ 一致する組み合わせで使用してください。
→ ペアリングをやり直してください。

8ページの「ペアリングを行う」を参照ください。

・ほかのトランスミッターと通信していませんか?
→ 使用していないトランスミッターの電源は OFF
にしてください。
・トランスミッターを切り換えるとき、正しく電源を
OFF にしていますか?
→ AC アダプターを抜いてレシーバーの電源を一度
OFF にしてください。

9ページの「マルチペアリング機能」を参照ください。

ノイズが出る

・レシーバーへのコード、または機器へのコードが
確実に接続されていますか?

6ページの「接続のしかた」を参照ください。

・レシーバーの近くに蛍光灯や電気機器などのノイズ
発生源はありませんか?
→ レシーバーをノイズ発生源から離してください。
・ペダルボード内でほかの接続機器 (エフェクター等) と
共通電源を使用していませんか?
→ エフェクター用のパワーサプライは、アイソレート
(絶縁・独立) 出力タイプを使用してください。
→ 付属の AC アダプターを使用してください。

音が出ない、または音が小さい

・レシーバーとトランスミッターの ID 番号は一致
していますか?
→ 一致する組み合わせで使用してください。
→ ペアリングをやり直してください。

8ページの「ペアリングを行う」を参照ください。

トランスミッターの確認

・電源が OFF になっていませんか?
→ 電源を ON にしてください。
・電源 LED が赤色に点灯していませんか?
→ ミュート状態になっています。ミュートを解除
してください。
・AF レベルボリュームノブが最小になっていませんか?

7ページの「使いかた」を参照ください。

レシーバーの確認

・接続機器のコードが外れていませんか?

6ページの「接続のしかた」を参照ください。

・レシーバーの受信 LED が点灯していますか?
→ ペアリングが完了していない可能性があります。
もう一度、ペアリングを行ってください。

8ページの「ペアリングを行う」を参照ください。

外部機器の確認

・レシーバーからのコードが外れていませんか?
・接続機器のボリュームが最小になっていませんか?

テクニカルデータ

システム仕様

運用電波帯域	: 2.4GHz ISM バンド
オーディオダイナミックレンジ	: 109dB
歪率	: 0.05% 以下
通信距離	: 半径 20m、直径 40m（見通し時、妨害電波がない場合）
動作温度範囲	: 0 ～ 40℃
オーディオ周波数特性	: 20 ～ 20,000Hz
オーディオサンプリング	: 24bit ／ 48kHz

レシーバー　ATW-R1500

受信方式	: 自動チャンネル設定方式
最大オーディオ出力レベル	: 12dBV（φ6.3mmTRS バランス）
電源	: DC12V（付属の AC アダプター使用、日本国内専用）
外形寸法	: H44×W101×D130mm
質量	: 約 565g
付属品	: AC アダプター、固定テープ　2 組

2 ピースタイプトランスミッター　ATW-T1001J

送信出力	: 10mW
電源	: DC3V（単 3 形アルカリ乾電池 ×2 本）
動作時間	: 約 6 時間（単 3 形アルカリ乾電池使用時）
外形寸法	: H107×W70.2×D24.9mm（突起物除く）
質量	: 約 100g（電池除く）
付属品	: S 型 1.0m ギターケーブル

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

お問い合わせ先（電話受付 / 平日9：00～17：30）
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

●お客様相談窓口（製品の仕様・使いかた）　0120-773-417
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp

●サービスセンター（修理・部品）　0120-887-416
（携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp

●ホームページ（サポート）
www.audio-technica.co.jp/atj/support/

修理について
本製品の修理をご依頼される際は、
レシーバーとトランスミッターの両方をお預けください。

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。
お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社 オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

232305040B